

令和4年9月5日

校長先生のお話

大切な体とバレエ公演

あいさつをしますが大きな声は出さないで、小さな声でしましょう。

今日は2つの話をします。まず、みなさんの大切な体と心を守るための話です。皆さんの体や心は大切なものです。皆さんの体の中で、プールに入るときに、水着で隠れる部分があります。水着で隠れる部分は、特に大切なところですよ。

自分の体の大切なところを触られたり、じろじろ見られたりしたら、誰だって、嫌な気持ちになります。友達や大人からそのように嫌なことをされたら、はっきりと相手に「嫌です」と言ってください。そして、すぐに、おうちの人や先生など、皆さんが安心できる大人の人に相談してください。そのことで、誰にも言えなくて、もし相談をしたいなと思う人がいれば、今日配られる手紙にかいてある電話番号、メールアドレスに連絡してください。電話やメールを使わない場合は、用紙に相談したいことを書いて、郵便で送ることもできます。それから、友達の体も自分の体と同じように大切です。友達の体にも気を付けてほしいと思います。

2つめの話はバレエの話です。今日は体育館で、バレエを見ます。バレーボールではなく、踊りのバレエです。「ええっ、踊りのバレエ」と思っている人もいます。実は校長先生もはじめはそう思っていました。見たら、その考えは変わりました。本物はすごいです。素晴らしいです。柔らかい体、リズムにのって流れるような美しい動き、真似できません。あそこまでできるようになるには、アスリートと同じような練習が必要だと思います。野球やサッカーのファインプレイを見るのと同じ気持ちになりました。

今日は「谷桃子バレエ団」という一流のバレエ団の公演です。舞台や照明も一流です。ぜひバレエを楽しんでください。そして、今日の公演で興味をもった人は、また見てほしいと思います。もちろん習ってもいいですよ。今、習っている人は、今日の公演を参考にして、さらにがんばってください。

それでは、今週も元気よく過ごしましょう。